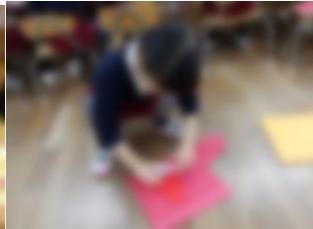


かんなんキッズニュース

サンタさん来るかな？

サンタさん
来ますように

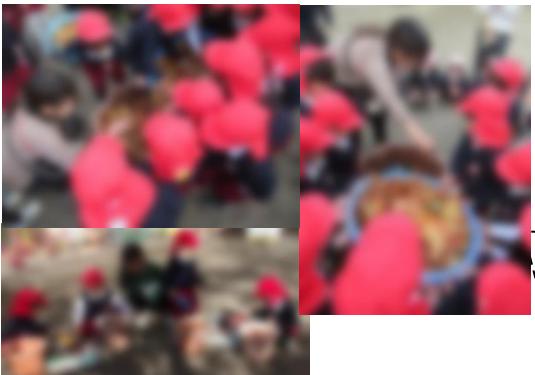


12月に入ると、『あわてんぼうのサンタクロース』『サンタのおじさん』の歌をうたったり『わすれんぼうのサンタさん』という絵本を読んだりしているうちに「お家でね、サンタさんへ手紙書いたよ」「おもちゃもらうねん」とお家での嬉しい話を話してくれました。「幼稚園にもサンタさん来てほしいね。どうしたら来てくれるかな？」と話すと「ツリー飾るねん。『ここに子どもいます』って」と言い、とサンタさんが分かるように、大きなツリーをつくりました。プレゼントをもらえるように、好きな色の靴下を選んで、折り紙でつくったサンタやいろいろな形の色紙を組み合わせてつくったツリーや模様を楽しんで靴下に飾りました。



サンタさん来てくれてありがとう

お楽しみ会では、待ちに待ったサンタさんが来てくれて大喜びでした。サンタさんへの質問をみんなで考えたのですが、あか組は、質問よりもサンタさんに言いたい気持ちが大きく「来てくれてありがとうございます」と言いました。また、一人一人にプレゼントをもらう時もキラキラした目をサンタさんに向け、ニコニコ笑顔でもらいました。すぐに開けずに、お家に帰つてお家の方と開けるのを心待ちにしていた「楽しみだな。何かな」「包装紙をこすると、ノンタンかいてある」「ノンタンの何かや」とわくわくウキウキする可愛い姿が見られました。会が終わると園庭に出たそら組が「氷がある」と教えてくれ、園庭に出てみると、なんとそりの跡と氷が落ちていました。「サンタさんここから飛んだのかな？」「またねー」と空に向かって手を振っていました♡



桜の葉っぱを集めているタライを見つけて「これ何？」と聞くの「亀のかまちゃんが寒くなったので葉っぱのお布団をかけて、冬中ねんねするの」と答えました。すると「葉っぱのお布団か」「これはどうかな？穴があいてるから寒いかな？」と言って「♪かまちゃんのお布団」と歌いながらかまちゃんのために葉を集めました。そもそも組さんと一緒にかまちゃんにお布団をかけて冬眠のお手伝いをしました。「冬中ねんねっていいけど、お腹すかないのかな？」と自分事のように心配していました。チューリップの球根を植える時も「いつお花咲く？」「春！」「春までねんねだね」と球根にも土のお布団を丁寧にかけてあげていました。優しくてかわいいあか組でした。

2学期は、運動会や作品展など楽しい行事がありました。また、個人懇談会では、子どもさんの園での様子や友達との関わりの話、またお家の様子など保護者の皆様と共有でき、有意義な時間を過ごさせていただきました。今後の保育に生かしていきたいと考えています。1学期よりも友達関係が深まり「一緒に遊びたい」「だいすき」という気持ちが強くなってきています。その反面、物の取り合いや、いざこざも起きては、「嫌い」「もう遊ばない」などと言ってしまう場面もあります。また、その場で言えずに「どうしよう」と考え込む子どももいます。まだまだ3歳児は、こういう言葉を使うと相手がどう思うかという想像がつかなかったり、自分の思いを言葉で伝えきれなかったりしています。そんな時、丁寧に子どもの思いを聞いたり、相手の思いやどう言えば伝わるのかなど一緒に考えたりしています。こうしてやがて言葉選びも、自分でできるようになってきます。このような心の成長過程を保護者の皆様と一緒に支え見守っていきたいと思います。

3学期も子どもたちが楽しめるように、教職員が連携して、見守ったり、一人一人の思いを丁寧に受け止めたり友達との仲立ちをしたりしていきますので、どうぞよろしくお願いします。